

いま、水事情

いま、「ダムめぐり」がけっこう人気だそうです。秩父地域にあるダム（浦山ダム、合角ダム、滝沢ダム、二瀬ダム）を訪れ、ダムカードをもらい最後は二瀬ダムでスペシャルカードをゲット！

今、そのダムの水が少なくなっています。3・4月の降水量が少なく、梅雨に入ってもまとまった雨が降っていません。とくに利根川水系から取水している金沢地域では10%の取水制限がでています。7月15日現在)

広報車が節水のお願いに回っています。「普通に使用している分には大丈夫です」へ水道担当者へ「荒川水系の滝沢ダム、合角ダムの水が少ない……」。

梅雨が明ける前にすこしまとまった雨が欲しいところですが、最近の天気はよみひびく、やはり異常気象の影響でしょうか？

暑くなると川に「藻」が発生し

「藻」から出る臭いで「カビ臭い」「変なおいがする」となるわけです。今のところ苦情は届いてないようですが、今年は荒川の上流に「藻」が発生、活性炭を入れて対処しているようです。秩父のおいしい水は大丈夫でしょうか。

私たちの生活にとって欠かせない水。地域の人口減少の中で大切な水を守っていくためにというところで、今年4月から秩父地域の水道事業が広域化されスタートしました。

当たり前のように、ひねれば出てくる水の事業、料金も含めてしっかりと見守っていく必要があります。



秩父の美味しい水道水

自然と共に生きる

持続可能な社会へ

医療生協皆野支部の方から町内の空間放射線量を定期的に測定しているが、7月13日は高かったと報告があった。通常は0.09とかであるが、今回は0.2のところは何力所もあった。(0.23以上は希望すれば除染をする場所)

数日来の雨で、放射性物質が流れ出してきたものか。福島では、汚染水漏れ事故も後を絶たない。老朽化したタンクからの汚染水漏れや、あちこちに野積みされた汚染土を詰めたフレコンバックが破れ、また放射線物質がばら撒かれる危険が危惧される。

大洪水でバリの街が浸る、日本や世界各地で起こっている。

年間のガン発生患者がはじめて100万人を超える予想。除草剤に強い遺伝子組み換え、野菜に保存料や着色料。自然を壊し、健康被害や災害を起こしている。売っているから安心、仕方がない、ではない。

自然をつやまい持続可能な社会をと思う。

知子のひとりごと

常山 知子

元職場の「山の会」の仲間が年に何回か山歩きをしています。誘われてもなかなか参加できずいますが、今回は「行きます！」と楽しみにしていました。

7/16、行先は群馬県中之条町の最奥部に位置する「チャツボミコケ公園」です。聞きなれない名称ですが・・・群馬県の天然記念物になっている「チャツボミコケ」はその溪流に湧き出る強い酸性の鉱泉の影響で、世界中でも耐酸性の強いコケです。溪流と緑一面の鮮やかな川面は吸い込まれるような気分になります。

さて私たちは、チャツボミコケを見ながら、霧の深いダテカンバや笹の茂る林の中を4時間（休憩含む）の散策を楽しみました。途中には湿原や大小の池もあり、ウグイスのさえずりを聞きながら、時にはおしゃべりを楽しみながら、久しぶりの気分転換！良かったです。

帰りは「六合（く）に 赤岩温泉」で汗を流しました。

力合わせて 改憲阻止へさらに

日本共産党

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

常山 知子

電話・FAX 62-6733